

こだま新聞

第171号
平成22年1月

骨粗鬆と顎骨壊死

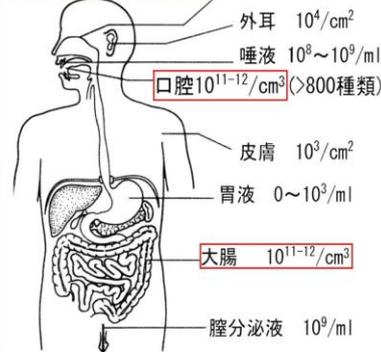
歯を抜かずに保存することは歯科で行われる治療のなかで大きな目標です。8020運動も80歳まで歯を20本残そうという運動です。

しかし残念ながら歯を抜かなければならない状態に遭遇することがまだ多いのも現状です。

最近、骨粗鬆(こつそしよ)症の治療薬を投与されている患者さんの歯を抜いた後に顎骨壊死(えし)を生じるという報告がなされるようになり、歯科界にも波紋が広がっています。

以前はワーファリンのように止血しにくい薬を服用している方の歯を抜くときは主治医に連絡してしばらく投薬を止めていただくというようなことをした時期もありました。現在は主治医との協議

生体内の細菌数



最近の報告(米田俊之・大阪大学)では「口腔内にある細菌が関与していると考えられる」とされています。口の中の細菌数は糞便中の細菌数とほぼ同じだそうです。(左上の図) 様々な知見を列挙すると

- ① 口の中の細菌がほとんどいないマウスでは、骨粗鬆症の薬を投与しても顎骨壊死が発生しない。
- ② 口の中の清掃を行うと顎骨壊死の発生は清掃をしていない場合に比べて5人に1人くらいに低下する。
- ③ 歯を抜く3日前から抗生剤を服用した43人のうち顎骨壊死の発生は0人、服用させなかった32人のうち顎骨壊死の発生は8人。
- ④ 骨粗鬆薬を2.5ヶ月中止した人は顎骨壊死が発生したが、5ヶ月同じ薬を中止した時は顎骨壊死が発生しなかった。
- ⑤ 骨粗鬆症の薬は服用の場合注射、点滴に比べて顎骨壊死の発生は10万分の1以下。



平成22年元旦

一日市裸参り

1月1日、午前0時に八郎潟町の防災センターに集ま

されています。そこで私のところでは
1. 骨粗鬆症の治療薬を使用している人の場合は歯を抜く処置は出来るだけ避けるようにしています。
2. 骨粗鬆症治療薬を服薬している場合は、抗生剤を事前に服薬してもらい、口の中の清掃を徹底的に行つてから歯を抜くようにしています。
歯を抜く必要がある場合は薬手帳などで投薬されている薬の確認をさせていただいております。

今月・来月の行事

- 1月
- 1日 一日市裸参り
- 1日~4日 休診
- 4日 消防出初式
- 6日 湖東3町賀詞交歓会
- 7日 書初め(公民館)
- 7日 中学校学校保健会
- 9日 湖東医和会主催医聖祭
- 11日 成人の日(休診)
- 12日 上町商店街新年会
- 14日 3学期始業
- 14日 日本語教室開始
- 15日 潟上市南秋田郡
- 17日 学校保健会理事会
- 17日 あきたロシア音楽祭
- 19日 一日市盆踊り企画会議
- 20日 伝承サークル
- 23日 クライン新年会
- 25日 1歳6ヶ月健診
- 29日 漢字検定試験